



## ● 名工振と市工研

—モノづくりと人材育成支援へ一層の協力を—

名古屋市工業研究所 所長 濱田 幸弘

名古屋市工業技術振興協会の皆様には、日ごろから、新技術・新製品の開発・普及に勤しまれ、当地域の産業振興に尽力しておられることに敬意を表します。また、当名古屋市工業研究所をはじめ、名古屋市の諸事業に対し、一方ならずご協力を賜っておりますことに改めてお礼申し上げます。

さて、この4月に所長を拝命して以来6ヶ月が過ぎました。昨年来の不況の影にも薄明かりがとまり始めたようにも感じられますが、潜在失業率は10数%との指摘もあるなど、多くの中小企業にとっては、まだまだ厳しい状況が続くものと思われまます。この苦境を乗り越えるためには、やはり新技術・新製品の開発が重要です。当所では「モノづくり中小企業総合技術支援事業」として、技術相談、依頼試験・分析、受託研究、といった支援メニューにより、様々な分野での技術支援を展開しております。また、企業と連携して戦略的基盤技術高度化支援事業や地域イノベーション創出研究開発事業など、提案公募型研究開発事業にも参画し、中小企業の技術の高度化、新製品開発に積極的に取り組んでおります。皆様には社内の様々な技術的課題に際しまして、工業研究所の活発なご利用をお願いいたします。

また、当所では、中長期的課題として、今後の支援業務の充実を図るべく、試作開発支援機能の強化を掲げており、今年度の重点研究では「X線CT3次元測定によるバイオペラスチック製品の高品位化」に取り組みます。この事業は単に新規設備の拡充・活用に止まらず、CAD・C

AE技術などと併せることによって、支援業務を従来よりも幅広く複合的な形へ発展させていく、その第一段階と位置づけております。業界の皆様のご期待・ニーズを踏まえながら充実に図ってまいりたいと考えておりますので、ご意見をお聞かせいただくなどご協力の程よろしくお願いたします。

これからを担う人材の育成に取り組むことも中長期的視点から極めて重要な課題です。名工振協会では従来からモノづくりカレッジ事業を展開しておりますが、引き続き人材の育成を強力に推進し若い技術者へのスキルの伝承に尽力されることを期待します。また、レベルアップ支援、テクノプラザなど、独自の資源を活用した協力と連携の活動にもいっそうの成果を期待するところです。

最後に、名工振協会と名古屋都市産業振興公社との統合の問題に触れさせていただきます。名古屋市における外郭団体の見直し、国の公益法人制度改革にあわせて、このたび、両財団の統合の検討に着手することとなりました。長年にわたり当所を激励し支えてくださった名工振協会の皆様には、十分にご議論を重ねていただきたいと存じますが、当所といたしましても、名工振協会が果たしてきた機能がより一層の発展を見るよう、議論のお手伝いをさせていただきます。

当所の使命は、技術支援を通じて名古屋市の産業振興に寄与することにあります。そのために上記諸課題への取組みに力を注いでまいりますので、皆様のご助言・ご協力をよろしくお願申し上げます。